

患者さまへ

「急性冠症候群患者における経皮的インターベンション後の ニコランジル持続静注投与の有効性」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての以下の情報を公開することが必要とされています。

1 研究の対象	2014年4月より2025年8月までに湘南鎌倉総合病院循環器内科で緊急経皮的インターベンション(PCI)を受けられた/る急性冠症候群(ACS)の患者さま
2 研究目的・方法	<p>心臓の血管(冠動脈)が狭くなると、胸の痛みや心筋梗塞を引き起こすことがあります。このような冠動脈疾患の患者さまに対して、カテーテルを使って血管を広げる治療(PCI)をおこないますが、この治療の後にニコランジルという薬を投与することで、PCI後の心臓や血管に関連する病気等や心臓の機能を改善するという報告がされています。しかし、ACSの患者さまや緊急PCIを受ける患者さまにおけるニコランジル投与の有効性はこれまであまり検討されていません。</p> <p>そこで本研究では、患者さまの診療録の情報を元に、PCI後にニコランジル持続静脈投与をすることでACSの経過が改善するかどうかを検討します。</p> <p>なお、患者さまへの新たなご負担はありません。</p> <p>研究の期間:施設院長許可後(2025年8月予定)～2027年3月</p>
3 情報の利用拒否	<p>情報が当該研究に用いられることについて、患者さまもしくは患者さまのご家族等で患者さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「6. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。</p> <p>ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。</p>
4 研究に用いる情報の種類	<p>患者情報(年齢、性別、薬剤情報、発症からの時間、来院時バイタルサイン)</p> <p>病歴情報(原疾患、合併症)、心筋梗塞の有無、血液検査データ、心エコーの検査結果、心電図の結果、経過 等</p>
5 個人情報の取扱い	収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する

	倫理指針」に則って、個人情報 を 厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
6 お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 研究責任者、照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 湘南鎌倉総合病院・救急総合診療科・集中治療科 鱈口清満 住所：神奈川県鎌倉市岡本1370-1 連絡先：TEL 0467-46-1717

2025年8月29日作成(第1.1版)